

出雲大社に日本最古の手筒花火を奉納

平成29年10月14日、愛知県豊川市に伝わる日本最古の花火「とよかわ手筒花火」(大社神社)が初めて島根県出雲市の出雲大社に奉納されました。

豊川市の大社神社が出雲大社とゆかりがあったことがご縁で奉納が実現したとのこと。奉納には、当協会員(井上充氏)も参加され、五穀豊穰、無病息災を祈願し奉納を行いました。

花火は、以下の写真のように長さ約80cmの孟宗竹に縄を巻き、筒の中に火薬を詰め込んだものを脇の横で抱えて放揚します。火柱が最大約15mにまで噴出し、最後は「ハネ」と呼ばれる爆音が鳴り響く、大変豪快で迫力のある花火で勇壮な感じが伝わってきます。今年も残り少なくなりましたが、会員皆様にも、この御奉納による御利益がありますように祈念致します。

